



日本消費者教育学会

2021年5月12日

関東支部ニュース No.3 (2021年度)

関東支部事務局 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2
横浜国立大学教育学部
松葉口 玲子 研究室内
TEL 045-339-3463
jace_kantou_shibu@yahoo.co.jp

2021年度関東支部講演会・研究発表会のご案内

2021年度関東支部例会として、6月12日(土)に講演会・第1回研究発表会、6月26日(土)に第2回研究発表会を開催します。

*Zoomによるオンライン開催です。講演会は、どなたでも参加できます(無料)。

■参加を希望される方は事前にお申込みください。参加方法を事前にご案内します。

6/12(土) 講演会・研究発表会 申込期日 6/5(土)

6/26(土) 研究発表会 申込期日 6/19(土)

Webサイトに掲載の申込フォーム (<https://forms.gle/PiQmKvmN9Y2fA6F76>)、もしくは右記のQRコードからお申し込み下さい。



《講演会・第1回研究発表会 6月12日(土)》

◆講演会 14:15~15:45 ※14:00から入場開始

演題:「消費者市民社会の実現におけるライフサイクルの考え方の必要性」

講師: 松本真哉氏 (横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授、

横浜市地球温暖化対策推進協議会 会長)

<講演概要>

私たちの日常生活は、世界中から集めた食糧や鉱物、エネルギーなどの資源の上に成り立っています。そのため、消費者市民社会で示された社会を実現するためには、自らの生活と世界のつながりに気づくことが必須です。次の段階として、利用する製品や食品などに関係する環境問題や社会問題などの認識に基づいて自らの消費を変える必要があると考えます。ここで述べた気づきや認識は、製品などのライフサイクルを知ることや想像し考えること無しには得られません。本講演では、ライフサイクルの考え方を取り入れた環境教育の教材を基に、その消費者教育への活用についてお話ししたいと思います。

<講師紹介>

1994年大阪府立大学大学院工学研究科博士前期課程修了、1994年~1997年シャープ株式会社液晶事業本部、2001年横浜国立大学大学院工学研究科博士課程後期修了(博士(工学))、日本学術振興会特別研究員を経て2002年横浜国立大学教育人間科学部講師、2004年同助教授、2011年より現職。2012年から横浜市地球温暖化対策推進協議会の活動に関わり、2016年に会長となり現在に至る。専門分野は化学で、有機色素結晶の構造や物性の研究に取り組む。また並行して、ライフサイクル思考を取り入れた環境教育の教育研究も進めている。

◆第1回研究発表会 16:00~17:00 (2発表)

座長：天野晴子（日本女子大学）

1. 高橋勝也（名古屋経済大学）

高校生の消費行動に対する意識と教材開発に向けた課題と展望

2. 尾崎裕子・北島孝紀（消費者庁）

インターネット利用における消費者意識・行動の変化

《第2回 研究発表会 6月26日（土）》

◆第2回 研究発表会 13:00~15:45 (5発表) ※12:40から入場開始

座長：上村協子（東京家政学院大学）

1. 神山久美（山梨大学）

1970年代の企業への教育活動—一般財団法人日本消費者協会「コンシューマー・オフィサー養成講座」の意義—

2. 石島恵美子（茨城大学）・豊田悠夏（城里町立桂小学校）・松葉口玲子（横浜国立大学）

小学校における食品ロス学習の新たな可能性と課題

3. 野中美津枝（茨城大学教育学部）

消費者教育におけるパフォーマンス課題を取り入れた協調的問題解決学習の効果

座長：山岡義卓（神奈川大学）

4. 沼田夫佐与（日本女子大学大学院人間生活研究科（院生））・天野晴子（日本女子大学）

シェアリングエコノミーの広がりとは消費者教育の可能性

5. 山本輝太郎（明治大学情報コミュニケーション研究科（院生））

疑似科学的広告における「体験談型」強調表示の問題要因分析

●<研究発表・学会誌への投稿申込みについて>●

日本消費者教育学会では、学会誌への投稿にあたり事前の所属支部および全国大会での研究発表が必要です。

今年度の第41回全国大会は、10月2日（土）・3日（日）九州支部（オンライン開催／ホスト会場・佐賀大学）で開催されます。全国大会で発表をするには、原則として所属支部での発表後（所属支部で発表ができない場合は、他支部で発表をして全国大会の発表申込資格を得ることも可能ですが、各支部の発表申込締切期日や発表日が決まっています。学会HPの各支部の案内をご確認下さい）、学会HPの案内に従って専用の「発表申込フォーム」から申込みをします。

学会誌への投稿申込みについては、学会HPの案内をご覧ください。